

夏の夜を盛り上げる怪談話！

大人気イベント「夜の公民館」に「塩原のかたりべ」登場



8月1日（土）、稲村地区子供会育成会連絡協議会と稲村公民館の共催による「夜の公民館」が開催されました。夕暮れ時、期待に胸を膨らませた子どもたちが次々と稲村公民館へ集まりました。

このイベントは、毎年定員を超える応募がある人気の肝試し企画です。昨年に引き続き、肝試しの前に「塩原のかたりべ」による怪談（怖い話）が披露されました。

きじむすめ 「雉子娘」



「塩原のかたりべ」の二人は、昨年とは違う話を披露しました。

まず長澤さんが、岩手県に伝わる「雉子娘」を語りました。はじめはそわそわしていた子どもたちも、話が始めると一気にその世界へ引き込まれ、じっと耳を傾けていました。

続いて佐藤さんが、福島県の恐ろしい妖怪伝説「安達ヶ原の鬼婆」を披露。迫真の語りに子どもたちは静まり返り、夢中になって聞き入っていました。

最後に佐藤さんが「この後は、本物のお化けに会ってくださいね……」と語りかけると、これから始まる肝試しに向けて、子どもたちの緊張感と期待は最高潮に達しました。



あだたがはら おにはば 「安達ヶ原の鬼婆」

